

1300 | 生活環境計画Ⅰ

3 単位（通信授業 1 単位、面接授業 2 単位）

田中克明教授、十時啓悦教授、鈴木洋教授、西川聡教授、鈴木純子准教授、福田弘講師、萩原千春講師、高橋勇一郎講師、中島良弘講師

授業の概要と目標

プロダクトデザイン系クラス及びクラフトデザイン系各素材別クラスに分かれて授業を行う。プロダクトデザイン系4年次は、現代の生活で避けては通れない問題である「環境保全のデザイン」と「すべての人に役立つデザイン」にテーマを絞る。エネルギーや資源問題など地球環境への配慮をしたエコロジーやリサイクルに関する製品と、本来デザインはすべての人のためにあるという観点からのユニバーサルデザインに関する製品の課題の発掘から製品企画を考え、具体的なプロダクト製品のデザイン提案を行う。

「生活環境計画Ⅰ」では“エコデザイン”を、「生活環境研究」では“ユニバーサルデザイン”の課題に、「生活環境計画Ⅱ」では問題提起から“デザイン計画書の作成”を学習し、卒業制作の自由テーマへとつなげていくことが望ましい。

※クラフトデザイン系の金工クラス、木工クラスについては、平成28年4月以降の入学生は選択不可。平成27年10月以前の入学生については選択可能だが、当該クラスの開講は平成31年度までとなるので注意すること。

課題の概要

プロダクトデザイン系クラス及びクラフトデザイン系各素材別クラスは、それぞれ別課題とする。

○面接授業および通信授業課題

プロダクトデザイン系

エコロジーやリサイクルをテーマとした機器や製品のデザイン・提案を行う。予習としてエコロジーやリサイクルをテーマとした機器や製品の調査分析を行い、問題点を明らかにしてキーワードを導き出し、多くのアイデアを抽出する演習を行う。面接授業では予習の案の中から1案、具体的なデザイン提案にまとめて、ラフモデルを製作し操作性の検証とプレゼンテーションの方法を学習する。通信授業では面接授業で提案したデザインを再検証、評価して、コンセプト、図面、レンダリング、モデルの写真等A3レポートにまとめて提出する。

クラフトデザイン系

・テキスタイルクラス

面接授業において、ストライプの色彩研究、リピート効果および花の図案化を行う。

コンピュータを使用したデザインプロセスの学習とプレゼンテーションを行う（実材実習は行わない）。

通信授業では、模写とリデザインを行う。

・陶磁クラス

通信授業において、各地の建造物や壁面に利用されている陶磁器の調査研究を行う。それを基にして、レリーフ表現によるユニットタイルのアイデアスケッチをする。

面接授業では、アイデアスケッチを基にしてデザインに検討を加えて、石膏型を用いて陶土によるレリーフ表現のユニットタイルを制作する。

・金工クラス ※平成28年4月以降の入学生は選択不可

面接授業において、彫金打出しレリーフ技法を習得する。通信授業ではその技法をもとにペンダント、ブローチ等を作る。

・木工クラス ※平成28年4月以降の入学生は選択不可

小椅子の制作

通信授業では、小椅子についてマーケットリサーチを行い、レポートに纏める。

面接授業で小椅子の制作をするので、デザイン案を数点、スケッチ及びラフ図面を書く。

面接授業では通信授業課題で用意したデザイン案を基にモデルや図面による検討のうえデザインを決定する。この科目では小椅子のデザイン、制作を通して、機能と造形の関係、構造、加工方法などの基本を学習する。

* 課題については学習指導書『生活環境計画Ⅰ・Ⅱ／生活環境デザイン研究／卒業制作 平成29年度』を必ず参照すること。

授業計画

プロダクトデザイン系

予習



面接授業



通信授業

クラフトデザイン系
陶磁クラス、木工クラス

通信授業



面接授業

クラフトデザイン系
テキスタイルクラス
金工クラス

面接授業



通信授業

[面接授業]

プロダクトデザイン系

前提講義、予習課題の発表に続いて、テーマの再検討、コンセプトの設定、デザイン作業と一般的なデザインプロセスを進め、簡易モデルとパソコンを使用したプレゼンテーションで講評を行う。

※面接授業前予習課題を初日に必ず持参する。

クラフトデザイン系、陶磁クラス、木工クラス

前提講義、通信授業課題の発表に続いて、デザイン作業、作図、制作を行う。

クラフトデザイン系、テキスタイルクラス、金工クラス

前提講義に続いて、各工房においてデザイン計画、実材による作品の制作を行い、最終日に講評となる。

[通信授業]

プロダクトデザイン系

エコロジーやリサイクルをテーマとした機器を発案し、その背景となる様々な資料を収集して問題点を明らかにしてアイデアをスケッチで展開する。

クラフトデザイン系、陶磁クラス、木工クラス

学習指導書にしたがって学習し、面接授業初日に必ず持参する。

クラフトデザイン系、テキスタイルクラス、金工クラス

面接授業をふまえて、各素材別クラスごとに課題を提出する。詳細は面接授業最終日に説明する。

成績評価の方法

通信授業と面接授業の総合評価とする。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 4年次

[履修条件] 生活環境デザインコース3年次必修科目の単位をすべて修得していること（「学生ハンドブック」p.049の特例を除く）。

[備考] 工芸工業デザイン学科生活環境デザインコース4年次必修科目。スクーリングは課題内容の順序性により生活環境計画Ⅱ→生活環境計画Ⅰで受講することが望ましい。

教材等

教科書：横溝健志、田中克明編『生活環境デザイン』（武蔵野美術大学出版局 2003年）

田中克明監修『プロダクトデザインの発想』（武蔵野美術大学出版局 2006年）

横溝健志 監修『工芸』（武蔵野美術大学出版局 2002年）

田中秀穂 監修『テキスタイル 表現と技法』（武蔵野美術大学出版局 2007年）

小松誠 監修『陶磁 発想と手法』（武蔵野美術大学出版局 2009年）

十時啓悦 監修『木工 樹をデザインする』（武蔵野美術大学出版局 2009年）

学習指導書：『生活環境計画Ⅰ・Ⅱ／生活環境デザイン研究／卒業制作 平成29年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017年）